

湯俣からの道

📅 2020年11月29日

最近は山の開拓の歴史や地域文化と歴史のことを考えることが多くなった。北鎌尾根もあこがれのルートとして七倉から水俣川を遡ったが、湯俣川から三俣山荘へ向かう道が伊藤新道として拓かれたことなどは知らなかったし興味もなかった。

今回、野口五郎岳からの下山後、湯俣温泉晴嵐荘で一泊して、湯俣川と水俣川の出会いにある高瀬溪谷の噴湯丘を見学しがてら北鎌尾根に繋がる水俣川を遡ったことに思いを馳せた。帰ってから伊藤正一著作の黒部の山賊を読んだが、氏は黒部原流域の開拓者として三俣山荘、雲ノ平山荘、水晶小屋、湯俣山荘の経営に携わってきり、「山賊」と称された仲間たちの昔話が語られておりとても面白かった。山の開拓史と云えば大げさであるが、自分の山への思いはその時々登山観や歴史と関係がある。

